

[2026年度] S I M（社会生活の自立度評価指標）の実施結果開示

※ S I M : Social Independence Measure

2026/9/12 (15:20) 時点

かがわ総合リハビリテーション成人支援施設

1.実施状況（該当年度での結果、以下同）

	件数
01最終完了者（利用時と終了時とも完了）	11件
02利用時のみ完了	17件
03対応途中	5件
合 計	33件

注1）表題の該当年度の抽出者について

- ・最終完了者は、“終了時” 年度が、表題年度の場合
- ・利用時のみ完了者は、“利用時” 年度が、表題年度の場合
- ※対応途中者は、現時点で“利用時” 評価が終了していない場合

注2）過去からの全件は長期的な傾向を示す参考値であり、事業評価の中心は年度別の結果としています。

2.合計値（13～91点）の平均状況

	利用時a	終了時b	対比b/a	差異b-a
01最終完了者（利用時と終了時とも完了）	37.0点	50.7点	137.1%	+13.7点
02利用時のみ完了	45.1点			

3.各項目ごとの平均状況

			01最終完了者										02利用時のみ完了	
			件数	利用時	終了時							件数	利用時	
						伸び率	改善度	改善幅 (利得)	改善寄与率 (貢献度)	支援量指数 (件数×利得)				
毎日の社会生活を維持するための項目	1 健康管理	必須	11件	3.0点	3.6点	121.2%	中 (120%～) ☆	+0.6点	4.6%	7	17件	3.5点		
	2 金銭管理	必須	11件	2.9点	3.5点	121.9%	中 (120%～) ☆	+0.6点	4.6%	7	17件	3.5点		
	3 身の回りの管理	必須	11件	3.2点	3.8点	120.0%	中 (120%～) ☆	+0.6点	4.6%	7	17件	3.5点		
	4 買い物（買い物先までの移動を除く）	必須	11件	3.5点	4.5点	128.2%	中 (120%～) ☆	+1.0点	7.3%	11	17件	4.5点		
	5 家事活動（調理含まず）	(選択)	10件	3.3点	4.1点	124.2%	中 (120%～) ☆	+0.8点	5.8%	8	16件	4.0点		
	6 調理	(選択)	10件	3.6点	4.3点	119.4%	低 (～119%) ☆	+0.7点	5.1%	7	10件	3.7点		
	7 生活のセルフマネジメント	必須	11件	3.2点	3.5点	111.4%	低 (～119%) ☆	+0.4点	2.7%	4	17件	3.8点		
社会の一員として積極的に参加するための項目	8-1 公共交通機関を利用しての外出	1つを必須	7件	2.6点	3.7点	144.4%	中 (120%～) ☆	+1.1点	8.3%	8	12件	2.8点		
	8-2 自動車運転	選択	4件	1.5点	4.0点	266.7%	高 (150%～) ☆	+2.5点	18.2%	10	5件	2.8点		
	9 人間関係	必須	11件	3.5点	4.2点	121.1%	中 (120%～) ☆	+0.7点	5.3%	8	17件	4.2点		
	10 仕事／学校	(選択)	8件	2.3点	4.5点	200.0%	高 (150%～) ☆	+2.3点	16.4%	18	3件	2.7点		
	11 地域での余暇活動	必須	11件	2.4点	3.6点	153.8%	高 (150%～) ☆	+1.3点	9.3%	14	17件	3.2点		
	12 日中活動	必須	11件	2.5点	4.5点	175.0%	高 (150%～) ☆	+1.9点	13.9%	21	17件	2.8点		
共通項目	13 制度・サービス活用	必須	11件	1.5点	3.1点	200.0%	高 (150%～) ☆	+1.5点	11.3%	17	17件	2.5点		
合 計 (13～91点)			11件	37.0点	50.7点	137.1%	中 (120%～) ☆	+13.7点			17件	45.1点		
各項目の平均（係数反映無し）				2.9点	3.9点							3.5点		

【注1:合計点と項目合計の関係】

選択項目数に応じて係数を用いて合計点を補正しているため、各項目の点数を単純に合計した値と、係数を反映した合計点が一致しない場合があります。

【注2:各項目の平均値について】

「各項目の平均（係数反映なし）」は、各項目の点数をそのまま合計し、全実施件数で割った単純平均です。

※係数を反映した合計点を基に算出した平均とは計算方法が異なります。

※除外された選択項目がある場合でも、合計点の公平性を保つために、補正（係数の適用）は合計点にのみ行います。 項目平均や利得は、各項目の点数をそのまま用いて算出しています。

【注3:改善寄与率の意味】

改善寄与率は、全体の改善（利得）のうち、その項目がどの程度改善に貢献したかを示す割合です。

※ここでの「全体の改善（利得）」は、SIM合計点の利得（終了時合計値－利用時合計値）を指し、各項目の利得を単純に合計した値とは異なります。

【注4:支援量指数の意味】

支援量指数は、対象者数と改善幅（利得）を掛け合わせた値であり、どの項目に多くの支援が必要だったかを示す指標です。

※「改善幅（利得）」は、各項目の「終了時－利用時」の差を用いています。

※支援量指数は、項目間の支援の集中度を比較するための指数であり、値そのものの単位は持ちません（無単位）。

【注5:指標の使い分け】

改善寄与率は、「どの項目が全体の改善の中心だったか」を把握する際に用いる指標です。

支援量指数は、「どの項目に多くの支援が必要だったか」を把握する際に用いる指標で、支援計画の重点項目を検討する際に有効です。

採点基準（目安）

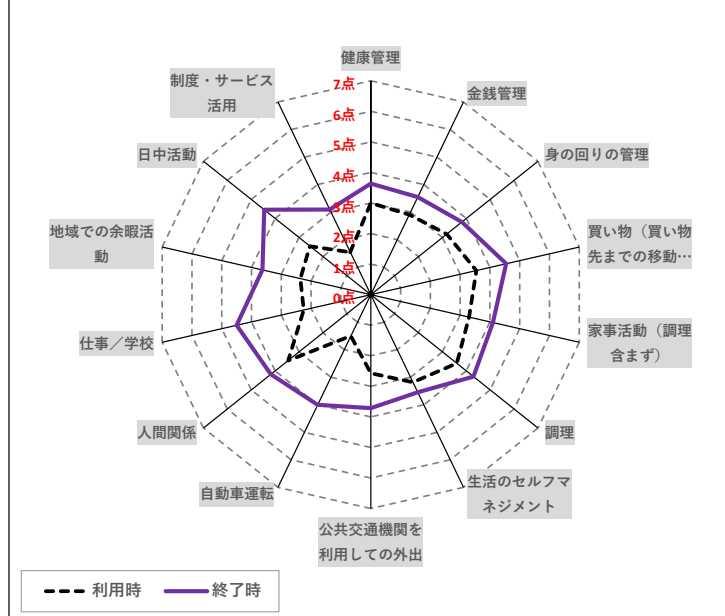
自立	継続自立	7 点	安定性や対応力が高い自立レベル
	自立	6 点	現段階で自立している場合 (店員や窓口担当等に問い合わせ等、通常ある人的資源の活用を含む)
部分的支援が必要	見守り 限定した活動状態	5 点	見守り、時々への促し・助言が必要な状態 見守り等は必要ないが、限定的な活動となっている状態
	最小支援	4 点	少しの支援を必要とする状態（75%以上自分で行う）
	中等度支援	3 点	部分的に支援を必要とする状態（50%以上75%未満自分で行う）
全面的な支援が必要	最大支援	2 点	多くの支援を必要とする状態（25%以上50%未満自分で行う）
	全面支援	1 点	殆どの支援を必要とする状態（25%未満しか自分で行えない）

《除外項目（選択しなかった項目）がある場合の採点方法》

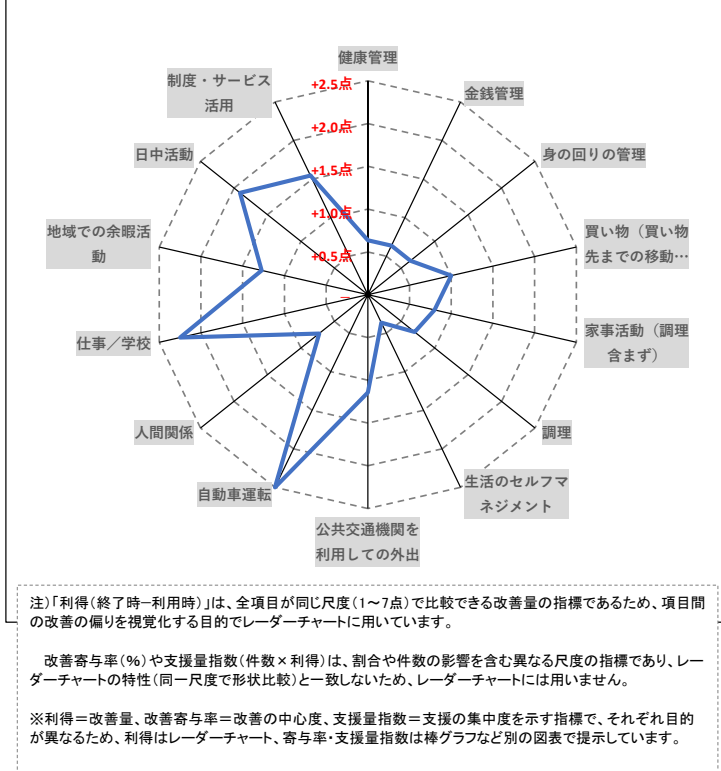
利用時と利用終了時の利得の合計で比較した場合に、13項目中該当しない項目があることで不利にならないために、合計点に以下の数値を乗じる

- 12項目の場合：合計値×1.084
- 11項目の場合：合計値×1.182
- 10項目の場合：合計値×1.3

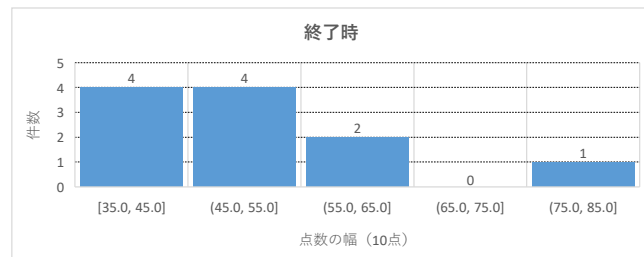
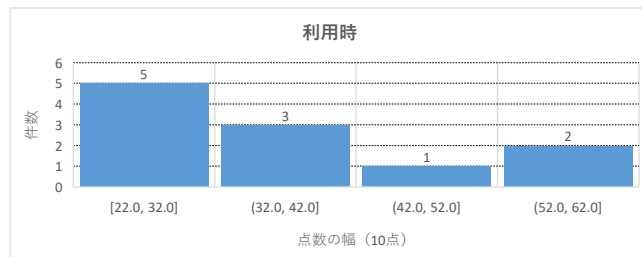
項目別 平均点（利用／終了時）のレーダーチャート



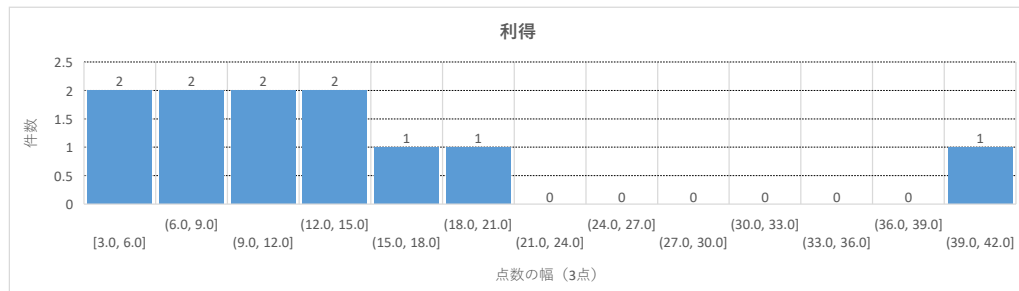
項目別 改善幅（利得）のレーダーチャート



4.度数分布



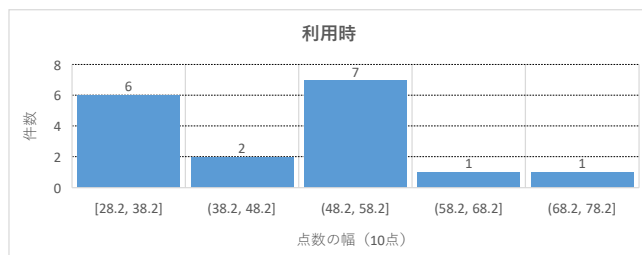
■度数分布グラフの軸のピン（区切り）の見方例（ここでは、ピン幅は3点毎）
例) ≤ 0 : 0点の場合、
(2,5] : 2点超5点未満の場合



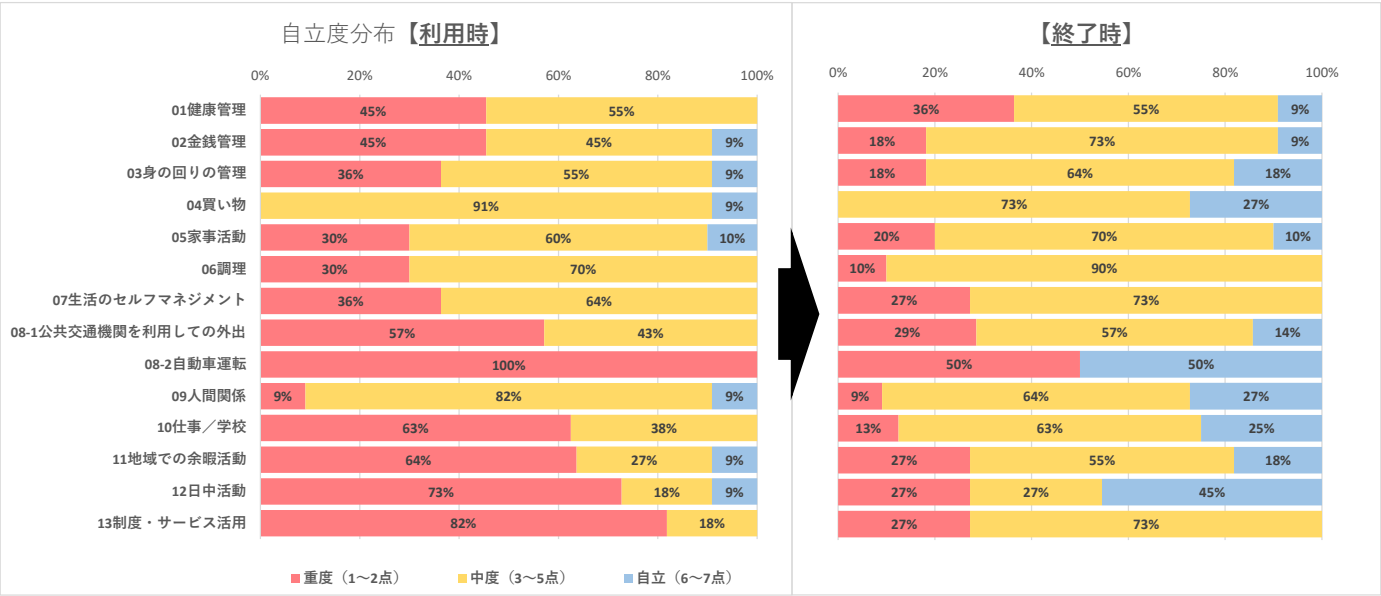
(参考)

02利用時のみ完了

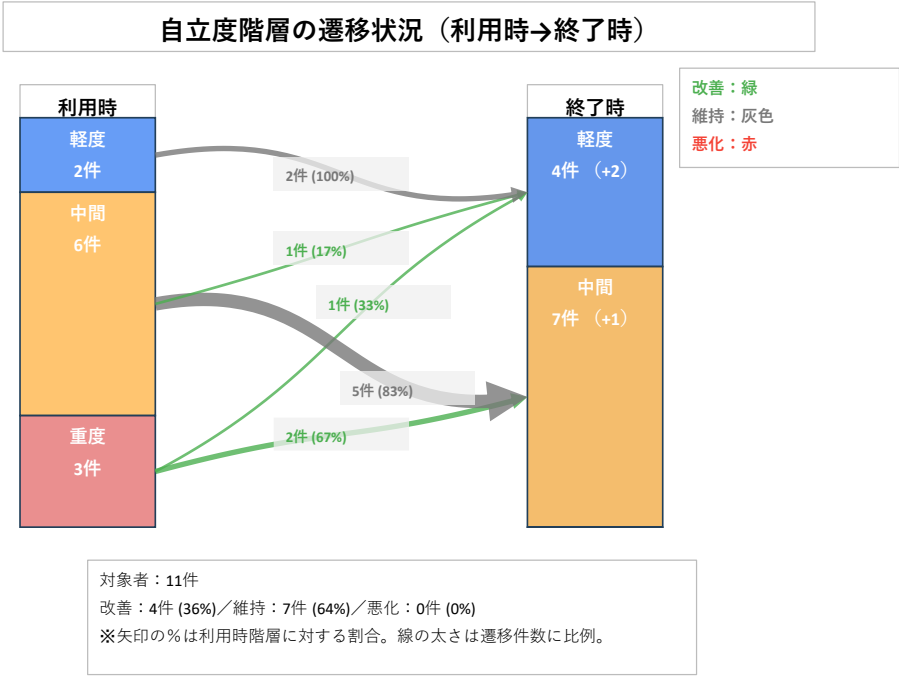
17件



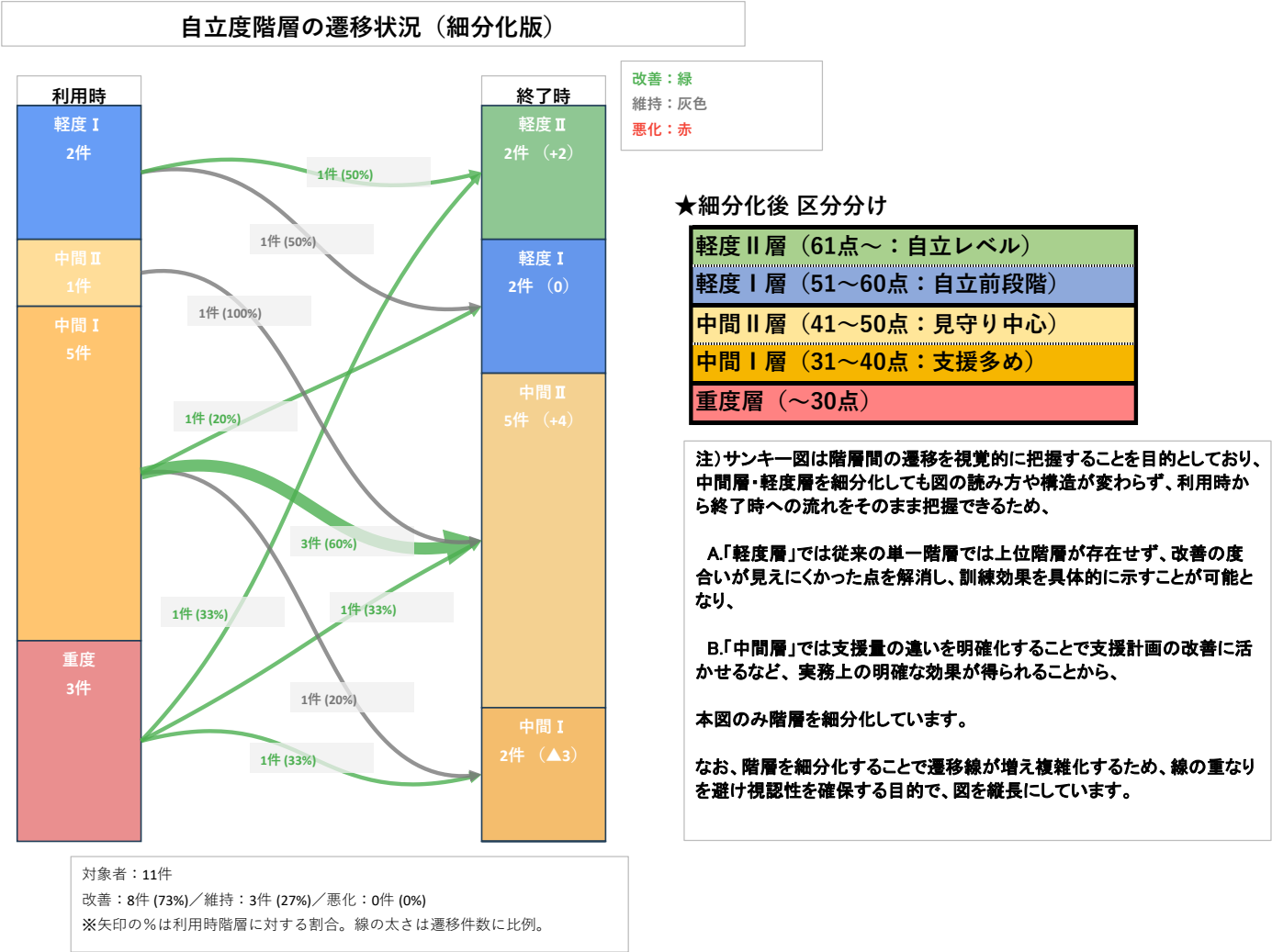
5.項目別 自立度分布



■サンキー図（階層間の流れを可視化）



■■■サンキー図（階層細分化による詳細な流れを可視化）



最終完了者の推移 ※2024年7月より実施

終了時年度→		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度
件数		12件	29件	11件				
合計 平均 点	利用時	48.1点	42.9点	37.0点				
	終了時	55.0点	53.5点	50.7点				
	利用時比	114.2%	124.6%	137.1%				
	差異（利得）	+6.8点	+10.6点	+13.7点				

利得 に 関し て	SD（標準偏差）	±7.2点	±6.2点	±10.4点				
	Q1（第1四分位）	1.5点	6.5点	6.8点				
	Q3（第3四分位）	8.7点	16.0点	15.5点				
	IQR（四分位範囲）	7.2点	9.5点	8.7点				

※以下、参考

合計 点	利用 時	最大値	70.9点	82.4点	56.0点			
		最小値	30.0点	18.0点	22.0点			
		中央値	44.7点	45.0点	34.0点			
	終了 時	最大値	70.9点	83.5点	76.0点			
		最小値	37.0点	19.5点	35.0点			
		中央値	56.0点	56.0点	48.0点			

利得	最大値	+22.8点	+23.0点	+41.0点				
	最小値	▲1.2点	+1.1点	+3.0点				
	中央値	+5.2点	+9.8点	+12.0点				

注）中央値は、個数が偶数である場合、中央に位置する2つの数値の平均値となります

利得外れ値	上限	+19.5点	+30.2点	+28.6点				
判定	下限	▲9.3点	▲7.7点	▲6.4点				

※SD（標準偏差）は、「みんなの点数が平均からどれくらい離れているか」を表す数字です。値が大きいほど、点数のばらつきが大きいことを示します。

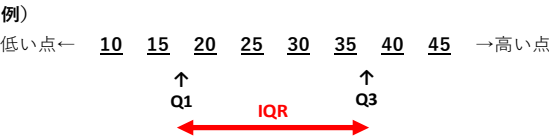
※Q1（第1四分位）とQ3（第3四分位）は、点数を小さい順に並べたときの区切りで、Q1は下から25%の位置、Q3は上から25%の位置の点数です。

※IQR（四分位範囲）は、点数を小さい順に並べたときに、真ん中の人たち（全体の50%）がどのくらいの幅に集まっているかを示す数字です。

点数がみんな近いところに集まっていればIQRは小さくなり、点数が広がらばIQRは大きくなります。また、極端に高い点や低い点（外れ値）を見つげるときにも使います。

※外れ値上限＝Q3＋1.5×IQRを超える利得は、平均値を押し上げている可能性があります。

※外れ値下限＝Q1－1.5×IQRを下回る利得は、改善が極端に小さいと判断されます。



指標	計算式	結果
	位置の計算式：(n-1)×p+1 n：データ数 p：割合（Q1=0.25、Q3=0.75）	
Q1	(8-1)×0.25+1=2.75番目 → 2番目（15点）と3番目（20点）の間を0.75だけ補間 → 15 + (20-15)×0.75 = 18.75点	18.75
Q3	(8-1)×0.75+1=6.25番目 → 6番目（35点）と7番目（40点）の間を0.25だけ補間 → 35 + (40-35)×0.25 = 36.25点	36.25
IQR	Q3（36.25）- Q1（18.75）	17.5